

シリーズ 憲法と自衛隊 その2

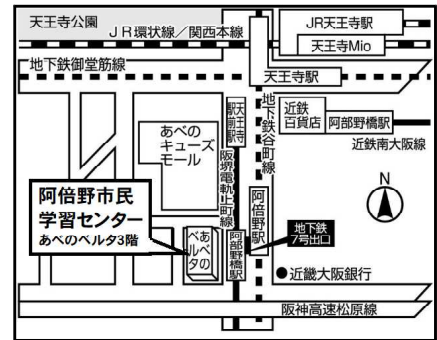
すでに軍事大国になった日本 海外派兵へはフリーハンド

日時 10月15日(日)

午後1時半から4時半

場所 阿倍野市民学習センター 第3会議室
(あべのベルタ3階) 資料代100円

JR天王寺駅 地下鉄阿倍野駅下車



安倍首相は臨時国会冒頭解散・総選挙を決めました。「丁寧に説明する」という自分の言葉をまたもや反故にして森友・加計・防衛日報隠し疑惑にフタをし、選挙で勝つことだけを狙った暴挙です。安倍首相は選挙公約の柱に「4項目改憲」を据え、選挙を改憲という野望のステップにしようとしています。姑息なやり方を許してはなりません。

安倍首相が実現したいのは、憲法9条を事実上抹殺することです。前回のカフェで学んだように現在の自衛隊は「専守防衛」などとは到底言えません。現に自分が攻撃されていなくても、米軍が戦争を始めたら一緒に朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)攻撃に参戦することが検討されています。

今回のカフェでは、2つのテーマで議論します。一つは、国連 PKO 活動です。南スーダンでは自衛隊は銃撃戦のただ中に巻き込まれました。戦争法で「駆けつけ警護」「宿营地共同防護」等の形で事実上の武力行使が解禁されましたが、南スーダンで武力行使していたら現地での内戦に参加するとことでした。さらに「国際平和共同対処」等という形で米と多国籍軍がイラクでやったような侵略戦争に後方支援部隊として参戦できること。すなわち海外派兵が自由に行えるようになっていることです。

もう一つは、欧州では交渉で通常兵器の大規模な削減が行われました。対照的に日本はアジアの平和と安定のために何も行わず、逆に周辺国との政治的緊張を高め、ひたすら巨大な軍事費を維持し、自衛隊を増強し続けてきました。いまや安倍政権は北朝鮮や中国との戦争を想定して、さらに大規模な軍拡を加速しようとしています。

トランプ大統領が軍事行動の脅しを振り回し、いつ米軍が軍事行動をするかもしれない緊迫した状況です。今こそ自衛隊の現状をしっかりと見つめ、冒険主義に断固反対し、軍事大国を実現するための改憲を阻止することが必要です。ぜひご参加ください。

ライブ・イン・ピース☆9+25

TEL 090-5094-9483 <http://www.liveinpeace925.com> Email: liveinpeace_heiwa@yahoo.co.jp